

らくあん

NPO法人

茅ヶ崎ユニバーサルデザイン
スクエア
地域活動支援センター 楽庵

楽庵ニュース 第18号

茅ヶ崎市浜竹3-4-64
石黒ビル2階



謹賀新年

謹んで新年の新春のご祝詞を申し上げます

旧年中は皆様の色々な
あたたかいご支援、あり
がとうございました。

令和二年も笑顔あふれ、
楽しく安心して過ごせる
居場所を提供できますよ
う職員一同研鑽を深めて
いきたいと思っております。

今年は東京オリンピック
ク、パラリンピックの年
です。世界の方々をお
もてなししようと東京で
開催されることが決まっ
た時にはずいぶんと先の
話だと思っていたのに、
時の流れは早すぎてびっ
くりします。なるだけや
りたい事をやって食べた
いものを食べて、充実し
た毎を送りたいもので
す。

年々変わる気候や世界情
勢がどうにかして穏やか
で平和な方向に向かって
ほしいと願います。

新しい年に向けて、人
それぞれ抱負も様々です。
楽庵で周りの方に聞いて
みました。

ピラカンサー 鶴嶺八幡宮

「やせたい」

「アルバイトをみつけたい」

「楽庵でワンチーム(笑)」

「歴史の本を山ほど読んで史跡を訪ね
たい」

「年女だから、明るい一年にしたい」

「今を生きる」

「とにかく毎日、目の前の事だけでせ
いいっぱいだよ」

「目の前のことを、淡々とこなしてい
くのみ」

「来年一年を健康でつつがなく過ごし
たい」と、伊藤さんがまとめて下さ
いました。

新年は一月六日の午後よりネットワ
ーク会議の講座から楽庵の一年を始めま
す。

「ストレスを手放す、退治する七つ
のコツ」という内容で日本支援助言士
協会の佐藤泰三先生にお願ひしてお
ります。生活して行くうえで難しいこと
はなくてはならないにしても、自分の対応
の方法を変えて、楽しい生き方を探し
ていくヒントになると思います。



ロウバイ=里山公園

最近のイベント

● ネットワーク会議

歌声喫茶イン楽庵

七月十九日

西信光さんを招いてギターとキーボードの演奏に合わせて皆で歌を歌いました。せっかくなので、事前に歌いたい曲を皆さんからリクエストを出しておきました。

はからずも、石川氏が本領を發揮し、替え歌で華麗なる歌をソロで披露。楽しい時を過ごしました。

大学生コミュニケーションのお話

八月二十三日

早稲田大学大学院生の大森正也さんによるコミュニケーションの大切さについての話を頂きました。

大森さんは全日本サップ連盟理事を務めていらつしやいます。サップとはスタンドアップパドルサーフィンの略です。最近大ブームのサーフボードの上に乗ってパドルを漕いで水面を進んでいくスポーツです。

更に起業家コミュニティにも属しておられ、それらがどのような組織なのかの説明、大学の研究室での話などお話し頂きました。

普段あまり接触の機会の少ない現代の若者との貴重なひと時でした。

医療リハビリの現状と課題

九月二十七日

神奈川県総合リハビリセンターの永井喜子さんをお招きしてリハビリ現場のお話を頂きました。

百人の高次脳機能障害の方がいたら、症状は百通りであるという話が非常に印象に残りました。分かりやすく高次脳機能障害の詳しい症状の説明もして頂きました。漠然としたものが具体的に理解できたという感想を持ちました。

沖縄民謡ライブ

十一月一日

小嶋亜矢さんと蔵座栄治さんをお招きして、沖縄民謡に合わせて皆で歌いました。前日に首里城の火災という痛ましい事件があり、いろいろと感慨深いものがありました。途中、小嶋さんの衣装替えの際に、蔵座さんのオリジナル曲である「忘れられたベンチ」を演奏して頂けるといふハプニングがあり、皆感動しました。また来年も聞きたいという感想がいっぱい寄せられています。

● 行事と活動

箱根ドライブ&ウオーク

七月二十六日

曇り空でちょうどいい温度の日に、箱根へドライブに行きました。すがす

がしい空気と心身共にリフレッシュしました。

浜竹三丁目納涼祭

八月二十七日

毎年恒例、大人気の鈴のくじびきをしました。夏の楽しみの一つです。

慶応看護学生さんの実習

八月一日、二日

毎年恒例、皆で楽しみにしている慶応の新入生の来所がありました。しっかりと自分の意見を持って、それをきちんと伝えることができる優秀な方ばかりで感心します。将来、素敵な看護師さんになって、たくさんの方々を幸せな気分にするようお祈りしています。

毎月恒例ソフトボール大会

八月二十二日

寒川川戸のふれあい公園にボールとバットを持って出かけました。日差しが強いたのでターフと麦茶を入れるサーバーを用意しました。

子供英語教室&ママの陶芸

八月八日、二十二日、二十九日

由美子先生による、夏休み子ども英語教室を開催しました。



子どもたちが英語と親しむ時間を過ごしている間、待っているママたちには田代さんによる陶芸教室を体験していただきました。

下の絵は英語で自己紹介をしたときに描いてもらった自画像です。可愛らしい人達の来訪に皆、ここにこになつてしまいました。

切り絵教室

八月二日、九日、三十日

職員田辺さんによる市民切り絵講座を開催しました。

二日には慶応の学生さんも楽庵のメンバーさんも一緒にチャレンジ。おしゃべりを楽しみつつ細かい作業に没頭しました。

イオン展

九月九日から十三日

今回のイオン店には接客が好きなメンバーさんが売り子さんとして参加。お客さんとの会話が盛り上がりました。



共同募金

十月四日

茅ヶ崎駅にて募金活動をしました。了君がずーっと声を出して頑張ってくれました。ちょうど茅ヶ崎在住の徳光さんが通りかかる、という楽しいエピソードもありました。

松浪ふれあい祭り

十月二十日

例年通り、野菜の人氣が高く、喜んでいただいております。台風のためにもかかわらず「お客さんが多く、売るのにもやりがいを感じました」とは大城さんの言です。

ふれあい交流会

十一月八日

茅作連のイベントが分庁舎でありました。箱に入った美女に刀を刺すなどの本格的マジシャンの出演やカントリードダンスなどの余興がありました。ワイエムシーエーやダイアナの曲で皆が踊り、しばしの一体感を楽しみました。

ブラジル風バーベキュー

十一月十五日

今年は神山由美子さんのご家族のご厚意により、皆でお宅にお邪魔して、本格的ブラジルバーベキューをごちそうになりました。



お庭から富士山が見え、景色も最高でした。

メニューはフランゴ（鳥の丸焼き）シユラスコ、トマトと玉ねぎとパセリのサモサ、コシーニヤ（鶏肉を詰め



たジャガイモを揚げたもの）、リングイツサ（ブラジルのソーセージ）グアラチジュースなどでした。見たことも、食べたこともないものがいっぱいでした。

楽庵一同、一生の思い出になりました。神山家の皆様とワンちゃんたちに感謝です。

茅作連研修

十一月十八日

障がい者雇用を長年行っているチョウクの会社、日本理科学工業に職員鈴木が見学に行ってきました。とても素敵な社長自ら案内、説明をしてくださり、感銘を受けました。

先代の社長が障がい者の受け入れに迷ったときに導師からもらった言葉「人間の究極の幸せは、人に愛されること、人に褒められること、人の役に立つこと、人から必要とされること」と先代の社長の「働くことによって愛以外の3つは得られる、愛も得られる」という障がい者雇用を経験した中で確信した考えも、大変参考になりました。

避難訓練

十一月二十一日

地震、津波の設定での訓練を行いました。まず机の下に隠れ、落下物から身を守るというところからやってみました。次に揺れがおさまった、ということでもヘルメットを被って、にんべんの駐車場まで移動しました。津波の警報が出た場合は楽庵の屋上に逃げた方がいいだろうということになりました。

茅ヶ崎養護学校文化祭

十一月二十三日

雨が降っていたにもかかわらず、体育館は沢山の人が出でました。始まる前から行列を作っていた養護学校の高等部園芸科の野菜が売り切れたあとから、楽庵の野菜も売れました。

ふれあい作品展

十一月二十五日から十二月六日

市役所にて手芸品と陶器などの販売。この頃は断捨離ブームで物を売るのが難しいです。いいアイデアがありません。たらご教授ください。

障がい者週間キャンペーン

十二月五日

茅ヶ崎駅の周辺で、チラシの入った手芸品を配りました。「私も障がい者です」という方が多かったのが印象的でした。長生きしたらほとんど皆通る道だと思われました。

ケロヨンニュース

こんにちは。ケロヨンです。毎週月曜日の午前中に、楽庵を利用してもらっています。

いよいよ、今年十月初旬に、五年ぶりに復職となりますが、いくつか不安なことがあります。

それは、目まがいが強く、いつも目が回っており、遊園地のコーヒーカーップに無理やり乗せられているような状態になること、しゃべりが困難なことから、通勤が困難なことです。

こんな私ですが、復職に向けて頑張っておりますので、もう少しの間、お付き合いをお願いします。

この人
専門職員
福岡 琢也さん



「人生よろず万事楽しんだもの勝ち！」が私の唯一のモットーです。流れに抗せず、たゆたえど沈まず、ノン気なクラゲみたいに毎日を過ごしております。楽庵との出会いも、たまたま私が茅ヶ崎養護学校で非常勤として陶芸を教えていたからで、五十才まで自営で陶芸家として生きていた自分が養護学校に行くようになってからも、たまたま大学の先輩が校長をしていて陶芸のできる教員を捜していたからで、運よく(悪く?) 網に私が引っかかりただけのことです。

強い志を持ってブレずに目標に向けてマイ進するタイプの人間ではなく、興味にまかせて寄り道、迷い道おもしろいと感じるとフラフラ迷い込んで道草を思いきり楽しんでおります。

結果的に「反省する」という習慣は日を追うごと、月日を経るにつれ減却することはなはだしく、誰から見ても「人生の失敗」と指摘される事態に遭遇しても「マァーいいか」でうつつやり過ぎず「ジャマ イイカー」の「ジャマ イカ野郎」として来年六十歳を迎えようとしているの考えると、カミさん並びに周囲の方々の苦労は、いかばかりかと拝察せずにはおれません。



「ジャマ イイカー」の「ジャマ イカ野郎」

編集後記
楽庵 ホームページ (茅ヶ崎 楽庵で検索) に日々の活動の様子が写真付きで公開されております。陶芸コーナーには制作風景と新作が公開されております。見るだけで楽しい柴田さんの絵皿や鈴木康之さんのカラフル烏帽子岩などは非ご覧ください。
なお食べものに気を付けたり、もつと体を動かして、さらなる美と健康を手に入れましょうということで、不定期情報メモ「彩食健美」を発行することになりました。
大城さんの英語講座のコーナーもあります。パソコン検索能力と食べ物への造詣の深さで全面的にご協力いただいております。読んでみたいかたは楽庵に来所された際に一声かけてください。
切り絵がブームとなっております。上は中村さんの作。細かい作業がすごいです。左は柴田さんの玉虫。切り絵の感想は? と聞くと「難しい」との事です。

